

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和3年度 要求額 (千円)	令和3年度 最終査定額 (千円)		令和3年度 要求額 (千円)	令和3年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
広報戦略部	広報課	広報活動事業	176,981	176,981	「広報さかい」の発行・配布業務	155,749	155,749	要求通り	—	1
広報戦略部	広報課	ホームページによる広報活動	31,506	31,506	ホームページリニューアル業務	17,498	17,498	要求通り	—	3
政策企画部	先進事業担当	泉北リモートワークタウン推進事業	10,000	10,000	事業新設	10,000	10,000	要求通り	—	5
政策企画部	民間活力導入担当	公民共創イニシアチブ推進事業	9,000	9,000	事業新設	9,000	9,000	要求通り	—	7

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画 / 施策番号
4-(2)

局・課名： 市長公室 広報課

事業名	広報活動事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額																																
			160,853	184,697	176,981																																
<p>【目的】</p> <p>市政に関する情報を効果的に伝え、市政の見える化を推進することで、市民の市政への参画・協働を促進するもの。</p> <p>【内容】</p> <p>・広報さかいの発行(毎月1日、全世帯・全事業者へ配布) ・広報さかい点字版・デージー版の発行 ・SNSを活用した情報発信 ・パブリシティ活動 ・くらしのガイドブックの発行(隔年)</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>市政に関する情報を全世帯・全事業者へ伝えられる唯一の媒体である「広報さかい」を、令和2年度に実施したアンケート調査の結果と広報戦略をふまえ、市の新たな取り組みや変化、魅力を分かりやすく的確に伝える媒体として改善する。</p>	<p>債務負担行為</p> <p style="text-align: center;">期間 R3 ~ R5</p>	要求額(千円)		163,000																																	
		<p>主な要求内容 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 10%;">2年度予算</th> <th style="width: 10%;">3年度要求額</th> <th style="width: 50%;">内容・積算等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報さかい(点字・デージー版含む)</td> <td style="text-align: right;">166,733</td> <td style="text-align: right;">165,289</td> <td>印刷製本費、宅配委託料、点字・デージー版作成委託料等</td> </tr> <tr> <td>啓発動画制作・記録映像撮影</td> <td style="text-align: right;">10,641</td> <td style="text-align: right;">2,050</td> <td>委託料等</td> </tr> <tr> <td>くらしのガイドブック</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">1,387</td> <td>点字・デージー版作成委託料等</td> </tr> <tr> <td>パブリシティ活動</td> <td style="text-align: right;">4,478</td> <td style="text-align: right;">4,180</td> <td>情報収集・配信手数料等</td> </tr> <tr> <td>LINEの機能強化</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">924</td> <td>委託料</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">2,845</td> <td style="text-align: right;">3,151</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">184,697</td> <td style="text-align: right;">176,981</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等	広報さかい(点字・デージー版含む)	166,733	165,289	印刷製本費、宅配委託料、点字・デージー版作成委託料等	啓発動画制作・記録映像撮影	10,641	2,050	委託料等	くらしのガイドブック	0	1,387	点字・デージー版作成委託料等	パブリシティ活動	4,478	4,180	情報収集・配信手数料等	LINEの機能強化	0	924	委託料	その他	2,845	3,151		合計	184,697	176,981
	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等																																	
	広報さかい(点字・デージー版含む)	166,733	165,289	印刷製本費、宅配委託料、点字・デージー版作成委託料等																																	
	啓発動画制作・記録映像撮影	10,641	2,050	委託料等																																	
	くらしのガイドブック	0	1,387	点字・デージー版作成委託料等																																	
	パブリシティ活動	4,478	4,180	情報収集・配信手数料等																																	
	LINEの機能強化	0	924	委託料																																	
	その他	2,845	3,151																																		
	合計	184,697	176,981																																		
<p>スケジュール(経過及び今後展開)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">【経過(～2年度)】</th> <th style="width: 33%;">【3年度】</th> <th style="width: 33%;">【今後予定(4年度～)】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 広報紙等市民アンケート調査実施 広報紙をUDフォントに変更し、レイアウトを改善 LINE公式アカウントの開設 </td> <td> アンケート調査結果をふまえ、広報紙の掲載情報、構成を改善 SNSをより効果的に活用した広報 </td> <td> 広報紙やSNSなどを効果的に活用した広報 </td> </tr> </tbody> </table>						【経過(～2年度)】	【3年度】	【今後予定(4年度～)】	広報紙等市民アンケート調査実施 広報紙をUDフォントに変更し、レイアウトを改善 LINE公式アカウントの開設	アンケート調査結果をふまえ、広報紙の掲載情報、構成を改善 SNSをより効果的に活用した広報	広報紙やSNSなどを効果的に活用した広報																										
【経過(～2年度)】	【3年度】	【今後予定(4年度～)】																																			
広報紙等市民アンケート調査実施 広報紙をUDフォントに変更し、レイアウトを改善 LINE公式アカウントの開設	アンケート調査結果をふまえ、広報紙の掲載情報、構成を改善 SNSをより効果的に活用した広報	広報紙やSNSなどを効果的に活用した広報																																			
<p>その他 特記事項</p> <p>関連事業:</p>																																					

堺市広報戦略 (抜粋)

【市ホームページ】

市政のベースとなる、堺市のすべての情報が集約された基幹媒体を構築
(戦略①)



市政の『総合情報プラットフォーム』と位置づけ、市民がより情報を見やすく探しやすい媒体に改善



- あらゆるデバイス（端末）から見やすい
- 全ての人を使いやすく、情報を探しやすい

【広報さかい】

市の成長や市民サービスの向上をめざす新たな取り組みをわかりやすく的確に伝える媒体を整備
(戦略②- (1))



堺市の変化や魅力を市民により伝えられる媒体として再構成



- 市民ニーズを踏まえた情報の掲載
- 全体構成の見直し



市のめざす方向性や施策・事業が、より伝わる広報活動の実現

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画 / 施策番号
4-(2)

局・課名 : 市長公室 広報課

事業名	ホームページによる広報活動	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額	
			14,666	15,860	31,506	
<p>【目的】</p> <p>市政に関する情報を効果的に伝え、市政の見える化を推進することで、市民の市政への参画・協働を促進するもの。 ※本事業は広報活動の主要な媒体として、ホームページによる情報発信を行うもの。</p> <p>【内容】</p> <p>市ホームページにおいて、市政や暮らしに関する情報、災害時の緊急情報、市の魅力・観光情報、イベント情報などを発信する。 即時的にページの作成・更新を行うことができるCMS(コンテンツマネジメントシステム)を年間を通じて安定的に運用する。</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>令和2年度に策定した広報戦略を踏まえ、市政に関する総合情報プラットフォームに位置付けられたホームページを、スマートフォンをはじめとするあらゆるデバイス(端末)から見やすく、使いやすく、情報を探しやすいページへと改善するため、トップページのデザイン等のリニューアルを行う。</p>	債務負担行為	期間		要求額(千円)		
		R ~ R				
	主な要求内容 (単位:千円)					
	項目		2年度予算	3年度要求額	内容・積算等	
	ホームページ管理運営費用		15,860	14,008	運用保守委託料、サービス使用料等	
	ホームページリニューアル費用			17,498	デザイン作成、システム設定等	
	合計		15,860	31,506		
	スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～2年度)】 平成24年12月に現行ホームページにリニューアルし、CMSによるホームページの管理運営を開始 平成29年12月にサーバ更新		【3年度】 ホームページデザイン等をリニューアル CMSによるホームページの管理運営		【今後予定(4年度～)】 サーバ更新 CMSによるホームページの管理運営		
その他 特記事項						
関連事業:						

堺市広報戦略 (抜粋)

【市ホームページ】

市政のベースとなる、堺市のすべての情報が集約された基幹媒体を構築
(戦略①)



市政の『総合情報プラットフォーム』と位置づけ、市民がより情報を見やすく探しやすい媒体に改善



- あらゆるデバイス（端末）から見やすい
- 全ての人を使いやすく、情報を探しやすい

【広報さかい】

市の成長や市民サービスの向上をめざす新たな取り組みをわかりやすく的確に伝える媒体を整備
(戦略②- (1))



堺市の変化や魅力を市民により伝えられる媒体として再構成



- 市民ニーズを踏まえた情報の掲載
- 全体構成の見直し



市のめざす方向性や施策・事業が、より伝わる広報活動の実現

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画

施策番号

4-(1)・4-(5)・

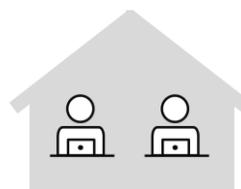
局・課名： 市長公室 政策企画部
先進事業担当

事業名	泉北リモートワークタウン推進事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額	
			-	-	10,000	
事業概要	<p>【目的】 新型コロナウイルスの流行により、地域や家庭での過ごし方や働き方などに関する考え方にも変化が起こっている。こうしたライフスタイルの変化をとらえ、緑空間や子育て環境、生活利便性などの居住環境が整った泉北ニュータウン地域において、リモートワークなどの拠点整備を進めることで、職住一体・近接の実現や、子育て世代の働きやすい環境を整え、エリアの価値を高めることを目的とする。</p> <p>【内容】 泉北ニュータウンエリアにおけるリモートワーク等の拠点整備を支援する。整備にあたっては、泉北ニュータウンエリアに暮らす住民にとって利便性の高い駅前施設、公園、近隣センター等において、民間事業者等がリモートワーク拠点の整備に必要な経費等の一部を支援する。</p> <p>【今年度要求のポイント】 居住環境の高い泉北ニュータウンのエリア価値を高めるため、職住一体・近接などに資するリモートワークタウンの形成を推進するため、民間事業者等による拠点の整備を支援する。</p>	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
			R ~ R			
		主な要求内容 (単位:千円)				
		項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等	
		リモートワークタウン推進補助	0	10,000	泉北ニュータウンエリアでの拠点整備	
			合計	0	10,000	
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～2年度)】 ・(コロナ禍における働き方の見直し、地方での働き方ニーズ増) ・区役所でのリモートワーク拠点整備(南区役所)		【3年度】 ・駅前施設、公園など、主要拠点におけるリモートワーク拠点の整備 ・整備した拠点の活用促進		【今後予定(4年度～)】 ・さらなる拠点の整備 ・泉北ニュータウンエリア外からのリモートワーク呼び込みによるエリアの活性化		
その他 特記事項						
関連事業:						

【 背景 】

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々のワークスタイルが変革し、リモートワークの普及により、家、地域で過ごす時間が増加。
- ワークスタイルの変革により生活の力点が変わり、家庭内や地域内等、居住地で日常を充足させたいと感じる方々が増加。
- 都心に近い郊外にあり、緑空間に恵まれている泉北ニュータウン地域は、新しいワークスタイルに適した空間である。

ワークスタイルの変革



家や地域で
過ごす時間増

生活の力点が変わる

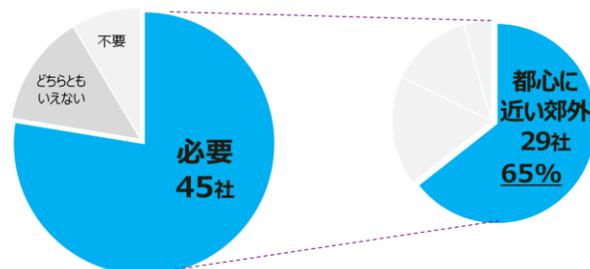
外出先での消費 居住地での充足した時間



居住地での
日常の充足

【 目的 】

- ワークスタイル、ライフスタイルの変化をとらえ、緑空間や子育て環境、生活利便性等の居住環境が整った泉北ニュータウン地域において、リモートワーク等の拠点整備を進めることで、職住一体・近接の実現や、子育て世代の働きやすい環境を整え、地域の魅力を向上させる。



リモートワーク拠点として、泉北ニュータウン地域＝都心に近い郊外での需要は高いと想定

(出典：N=58社 2020.10月データ)

- 2020年10月に民間企業に実施したアンケートでも、リモートワークを要望する企業の65%が「都心に近い郊外」の拠点化を希望しており、泉北ニュータウン地域での需要は高いと想定している。

【 事業内容 】

- 泉北ニュータウン地域におけるリモートワーク等の拠点整備を支援する。
- 整備にあたっては、泉北ニュータウン地域に暮らす住民にとって利便性の高い駅前施設、公園、近隣センター等において、民間事業者等がリモートワーク拠点の整備に必要な経費等の一部を支援する。(整備条件により、補助上限額は異なる。)

【 予算要求額 】

10,000千円

- 積算：5,000千円×2件 [5,000千円を上限とした事業費の1/2補助]
- 財源：国補助1/2 (地方創生交付金を予定)

令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画

施策番号

4-(1)

局・課名 :

市長公室 政策企画部

民間活力導入担当

事業名	公民共創イニシアチブ推進事業	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度要求額	
			0	0	9,000	
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
	公民が連携し、地域の活性化や地域課題の解決、新しい価値の提供、行政の効率化などに取り組むため、これまでの連携の取組に加え、実装に向けた実証プロジェクトを実施する。		R3~R4	6,000		
	【内容】	主な要求内容 (単位:千円)				
	一定の限度額の範囲内で、相互の負担や実証内容、協力事項などを協定に定め実証プロジェクトを実施する仕組みを構築することで、公民連携の中でも、お互いが責任とリスクを分担し、地域の活性化や社会課題の解決の実装を志向する実証プロジェクトを実施する。	項目	2年度予算	3年度要求額	内容・積算等	
		公民共創イニシアチブ推進事業	0	9,000	公民による実証プロジェクトに係る負担金 (限度額)300万円×3件	
【今年度要求のポイント】	合計		0	9,000		
行政施策の広範な分野において、公民がお互いに責任とリスクを分担し、地域課題解決に向けた実証プロジェクトを推進するための推進制度を新たに構築する。 (限度額)1件 300万円 負担内容、実証内容、協力事項などを協定に定め、市での課題認識や、公民による今後の展開を見据えた実証プロジェクトを実施する。	スケジュール(経過及び今後展開)					
	【経過(~2年度)】	【3年度】	【今後予定(4年度~)】			
	・さかいコネクテッドデスクの創設 ・堺スマートシティ戦略案の公表	・公民共創による、地域課題の解決に向けた実証プロジェクトの実施	・新たな実証プロジェクトの実施 ・サービス実装に向けたビジネスモデルの構築など。			
	その他 特記事項					
	関連事業:					

【背景】 公民の連携のさらなる推進が必要

(公民連携推進の目的)

(1) 質の高い市民サービスの持続的な提供

限られた経営資源で市民から期待されるサービスを提供するために、民間企業等の知恵やノウハウを活用し、質の高い住民サービスの持続的な提供をめざします。

(2) 効果的・効率的な歳出の実現

これまで本市が提供していたサービスについて、民間企業等と連携することで、より少ない経費でより大きい効果を挙げられるよう、費用対効果の最大化をめざします。

(3) 地域活性化

民間事業者が行政を通じて地域とのつながりを深め、地域への投資やビジネス交流、ボランティア参加などの促進による、地域の活性化をめざします。



さかい・コネクテッドデスク

公民連携のワンストップ窓口
(令和2年設置)

一元的窓口機能

コネクト機能

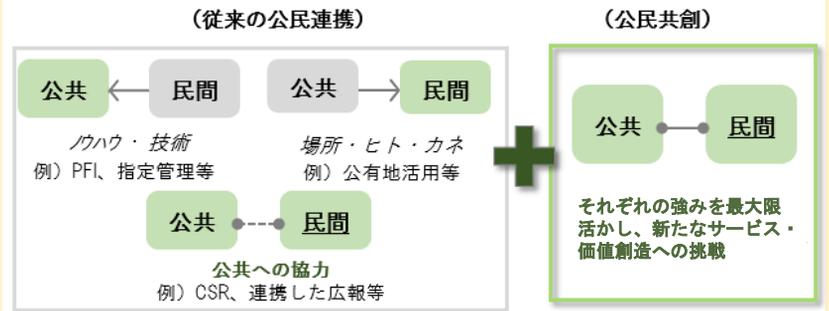
コーディネート機能

情報一元化・共有化機能

【課題・目的】

- ICT技術等の進展等により、社会経済の環境変化や住民ニーズの多様化が進んでおり、民間事業者においても従来のビジネスモデルとは異なる新たな事業領域の開拓が進んでいる。
- こうした中、公民連携を推進するうえで、事業の実証段階等で公と民が対話を通じて「協力」し、新たな価値の創造に挑戦する取組「CSV (Create Share Value)」が求められている。

公民連携の推進 (公民共創の取組)



【事業内容】

- 民間事業者(企業、大学等、その他)が、本市の行政目的と合致した新たな実証プロジェクトを行う場合、相互に目的や期待する効果・展開、負担する内容等に関する協定を締結し、実施にかかる費用の一部を負担する。

【予算要求額】

- 9,000千円(債務負担行為 6,000千円)
- ・積算: 3,000千円×3件
- ・財源: 国補助1/2(地方創生交付金を予定)